

水稻の生育情報

「コシヒカリの出穂が進んでいます。適切な水管理を行いましょう。」

概況（7月20日 水稻定点ほ場調査結果から）

7月中旬の気温、日照時間は平年を大きく上回っています（図1）。水稻の生育は、草丈は平年並み～高い、茎数は少ない～多い、葉色は平年並み～濃くなっています。出穂期は、4月下旬移植の坂東市は平年並み、境町は平年より4日早く7月20日に、一方で、5月上中旬移植の場合は、平年並みと予測されます（表）。

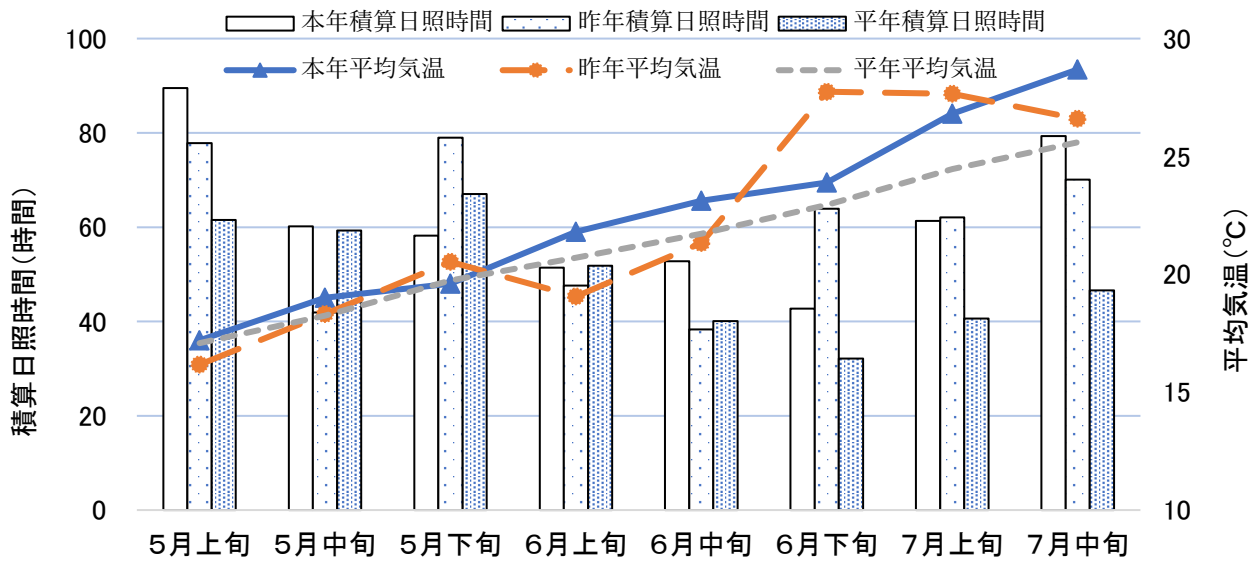


図1. 5月上旬から7月中旬の旬別平均気温と日照時間(古河) (注)平年値は1991～2020年の平均値
 表. 定点ほ場の生育調査結果 (令和5年7月20日現在)

品種	調査地点	田植日	植付本数 本/株	栽植密度 株/m ²	草丈※1 cm	茎数※1		葉色※1 葉色板	幼穂長 mm	出穂期予測 ※2
						本/株	本/m ²			
コシヒカリ	坂東市	4/29	4.6	15.2	110.7 (104.2)	30	454 (487)	4.3 (3.9)	出穂期	
	境町	4/25	4.3	15.2	102.6 (104.9)	26	390 (454)	3.9 (3.8)	出穂期	
	五霞町	5/5	6.9	15.9	97.8 (93.3)	35	549 (413)	3.5 (3.3)	57.2	7/30 (7/29)
	古河市	5/14	4.7	17.5	95.1 (91.9)	25	442 (423)	3.6 (3.8)	200.0	7/26 (7/26)

※1()内は過去5年間の平均値。
 ※2 出穂期は、気温が平年+2℃に推移したときの予測値。

今後の栽培管理

出穂後30日間は「間断かん水」を行いましょう。「間断かん水」により根の活力が維持され、乳白粒発生
 の軽減へつながります。

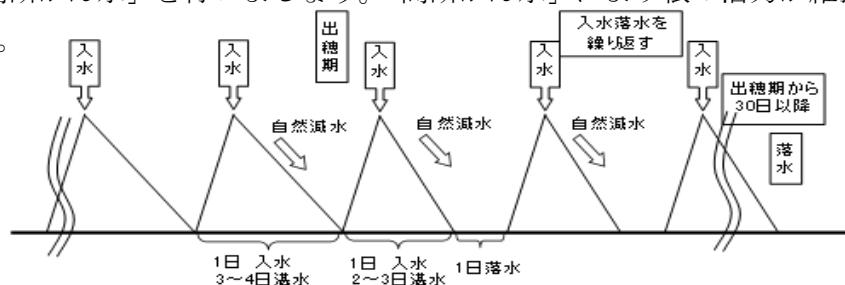


図2. 出穂後の水管理